



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月30日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉澤 博三  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	27,561	△24.5	741	△21.8	648	△41.1	2,067	—
2019年3月期第1四半期	36,512	△3.4	947	△35.5	1,101	△33.5	△2,464	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,310百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 △2,349百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	91.45	—
2019年3月期第1四半期	△95.78	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	90,062	60,171	61.3	2,443.09
2019年3月期	91,271	59,294	59.5	2,404.10

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 55,231百万円 2019年3月期 54,350百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	20.00	—	15.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2020年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△14.5	3,500	△11.1	3,500	△18.9	2,800	—	123.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	26,000,000株	2019年3月期	26,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,392,765株	2019年3月期	3,392,641株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	22,607,296株	2019年3月期1Q	25,729,597株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)における世界経済は、激化する米中貿易摩擦や中国経済の減速、加えて地政学リスクの高まり等により予断を許さない状況が続きました。

当社グループが属する電子部品業界におきまして、自動車関連市場では、世界的に新車販売台数が減少傾向にあります。一方、EVや自動運転に代表される次世代自動車向け部品の開発が活発化してきました。一方、スマートフォン関連市場では、普及率の高まり等から部品需要が鈍化しました。

こうした中、当社グループは、スマートフォン向けヘッドセットの生産体制の最適化を図ると同時に、今年度に計画されている新製品の量産の立ち上げに取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、27,561百万円(前年同期比24.5%減)となりました。利益は、営業利益が741百万円(前年同期比21.8%減)、経常利益が648百万円(前年同期比41.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産の売却益を計上し、2,067百万円(前年同期は四半期純損失2,464百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### [スピーカ事業]

車載用スピーカ・スピーカシステムは、世界的な新車販売台数の減少に伴い、売上高が16,253百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益が915百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

#### [モバイルオーディオ事業]

主力顧客向けヘッドセットの販売数量が前年度に引き続き減少したことから、売上高は9,826百万円(前年同期比44.5%減)となりました。一方、営業損益は過年度から進めていますリストラの効果により205百万円の損失(前年同期は営業損失208百万円)に抑えられました。

#### [その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他の売上高は、1,511百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は30百万円(前年同期比59.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末に比べ1,209百万円減少して90,062百万円となりました。負債は、主に仕入債務の減少により前連結会計年度末に比べ2,086百万円減少して29,890百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ876百万円増加して60,171百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比1.8ポイント増の61.3%となりました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより23,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,482百万円増加しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、棚卸資産の減少等により873百万円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、有形固定資産の売却による収入により1,862百万円となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、借入金の減少等により1,023百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2019年4月26日の決算短信で公表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,854	19,839
受取手形及び売掛金	18,888	17,960
電子記録債権	373	761
有価証券	11,386	4,965
製品	16,405	15,165
原材料	5,247	4,194
仕掛品	1,148	1,176
貯蔵品	167	181
未収入金	1,033	880
その他	1,291	2,121
貸倒引当金	△24	△27
流動資産合計	67,773	67,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,127	9,257
機械装置及び運搬具(純額)	5,187	4,690
工具、器具及び備品(純額)	2,142	2,019
土地	874	1,711
建設仮勘定	1,142	1,248
有形固定資産合計	18,475	18,927
無形固定資産		
ソフトウェア	194	177
借地権	821	—
その他	154	137
無形固定資産合計	1,171	314
投資その他の資産		
投資有価証券	2,488	2,331
長期前払費用	97	59
退職給付に係る資産	697	708
繰延税金資産	240	205
その他	326	293
投資その他の資産合計	3,851	3,598
固定資産合計	23,497	22,840
資産合計	91,271	90,062

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,334	7,507
短期借入金	2,634	2,561
1年内返済予定の長期借入金	6,863	6,912
未払金	3,112	2,771
未払法人税等	713	698
未払費用	2,005	1,898
賞与引当金	689	453
その他	1,098	1,000
流動負債合計	25,453	23,802
固定負債		
長期借入金	5,108	4,490
繰延税金負債	778	713
退職給付に係る負債	77	154
役員退職慰労引当金	12	13
株式給付引当金	92	104
資産除去債務	244	246
その他	208	364
固定負債合計	6,523	6,088
負債合計	31,977	29,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	7,961	7,961
利益剰余金	44,813	46,653
自己株式	△5,222	△5,222
株主資本合計	54,322	56,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677	577
為替換算調整勘定	△161	△1,138
退職給付に係る調整累計額	△488	△369
その他の包括利益累計額合計	27	△931
非支配株主持分	4,944	4,939
純資産合計	59,294	60,171
負債純資産合計	91,271	90,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	36,512	27,561
売上原価	32,093	23,716
売上総利益	4,419	3,844
販売費及び一般管理費	3,472	3,103
営業利益	947	741
営業外収益		
受取利息	27	61
受取配当金	12	15
為替差益	116	—
雑収入	91	84
営業外収益合計	248	162
営業外費用		
支払利息	50	38
為替差損	—	158
雑損失	43	57
営業外費用合計	93	254
経常利益	1,101	648
特別利益		
固定資産売却益	—	2,706
特別利益合計	—	2,706
特別損失		
減損損失	2,087	—
特別退職金	948	587
特別損失合計	3,035	587
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△1,934	2,767
法人税、住民税及び事業税	330	487
法人税等調整額	123	58
法人税等合計	454	546
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,388	2,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	153
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△2,464	2,067

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,388	2,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	△99
為替換算調整勘定	75	△985
退職給付に係る調整額	15	174
その他の包括利益合計	39	△911
四半期包括利益	△2,349	1,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,185	1,108
非支配株主に係る四半期包括利益	△163	201



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,934	2,767
減価償却費	1,680	826
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	19	△11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15	78
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△117	△231
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2,706
減損損失	2,087	—
特別退職金	948	587
受取利息及び受取配当金	△40	△77
支払利息	50	38
為替差損益(△は益)	12	17
売上債権の増減額(△は増加)	2,091	290
たな卸資産の増減額(△は増加)	△743	1,786
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,985	△650
未収入金の増減額(△は増加)	307	132
未払金の増減額(△は減少)	△512	△270
その他	19	△1,065
小計	1,898	1,515
利息及び配当金の受取額	40	77
利息の支払額	△50	△38
特別退職金の支払額	△737	△198
法人税等の支払額	△492	△482
法人税等の還付額	16	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	675	873
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△298	△382
有価証券の償還による収入	807	198
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△974	△619
有形固定資産の売却による収入	—	2,595
無形固定資産の取得による支出	△62	△8
定期預金の増減額(△は増加)	—	78
短期貸付金の増減額(△は増加)	0	—
長期貸付けによる支出	—	—
長期貸付金の回収による収入	1	—
長期前払費用の取得による支出	△2	△20
その他	△28	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556	1,862
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,926	△29
長期借入れによる収入	606	—
長期借入金の返済による支出	△436	△577
配当金の支払額	△904	△227
非支配株主への配当金の支払額	△149	△148
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	—	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,043	△1,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	△320	△229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,840	1,482
現金及び現金同等物の期首残高	10,150	21,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,991	23,007

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

当社グループは、当第1四半期連結会計期間の期首より、米国基準を採用する北米子会社を除いた在外子会社について、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が424百万円増加し、流動負債の「その他」が152百万円及び固定負債の「その他」が272百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。なお、従来、無形固定資産の「借地権」にて記載しておりました土地使用権794百万円につきましては、当第1四半期連結会計期間より有形固定資産の土地に含めて記載しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	スピーカー事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,462	17,693	1,356	36,512	—	36,512
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	42	42	△42	—
計	17,462	17,693	1,399	36,554	△42	36,512
セグメント利益又は損失 (△)	1,077	△203	76	950	△3	947

(注) 1 セグメントの調整額△3百万円は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を2,087百万円計上しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	スピーカー事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,253	9,826	1,481	27,561	—	27,561
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	29	29	△29	—
計	16,253	9,826	1,511	27,591	△29	27,561
セグメント利益又は損失 (△)	915	△205	30	741	—	741

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。